

＜飲酒運転の撲滅に対する県民の意識について＞

【調査の目的】

福岡県では、平成24年9月全面施行された全国初の罰則付きの「飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」(※1)(以下「飲酒運転撲滅条例」といいます。)に基づき、飲酒運転撲滅に係る様々な取組みを実施しています。これらの周知状況等について県民の皆様のご意見をお聴かせいただき、今後、取組みを推進する上での参考とさせていただきたいと思ひます。

【活用状況】

- ・飲酒運転撲滅条例の内容をはじめ、県で行っている飲酒運転撲滅対策に係る事業を広く県民に周知するための参考資料として活用
- ・来年度以降の飲酒運転撲滅キャンペーンの効果的な実施に向けた検討資料として活用
- ・効果的な広報啓発を行うための参考資料として活用

(人づくり・県民生活部生活安全課)

※1 飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例とは

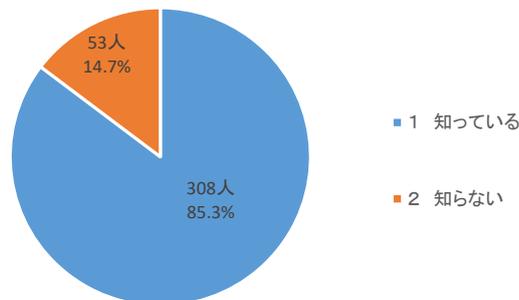
本県において深刻な状況にある飲酒運転の撲滅を推進し、飲酒運転のない、県民が安心して暮らせる社会を実現するため、平成24年2月の県議会で議員提案により制定された全国初の罰則付きの条例です。

問1 福岡県の飲酒運転事故件数が全国の中でもワーストレベルであること(令和元年は全国ワースト5位)をご存じですか。

次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=361 選択は1つのみ)

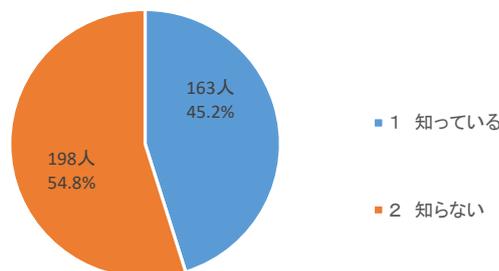
1 知っている	85.3%	(308人)
2 知らない	14.7%	(53人)



問2 福岡県では、令和2年6月に、県議会により、更なる飲酒運転撲滅対策の強化と県民の意識改革を推進するため、県民が飲酒運転を見かけたときの通報義務化や警告者に対する指導等が盛り込まれた飲酒運転撲滅条例が改正されました。このことをご存知ですか。(改正の詳細につきましては、<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/inshujoureikaisei2020.html>を御参照ください)

(n=361 選択は1つのみ)

1 知っている	45.2%	(163人)
2 知らない	54.8%	(198人)

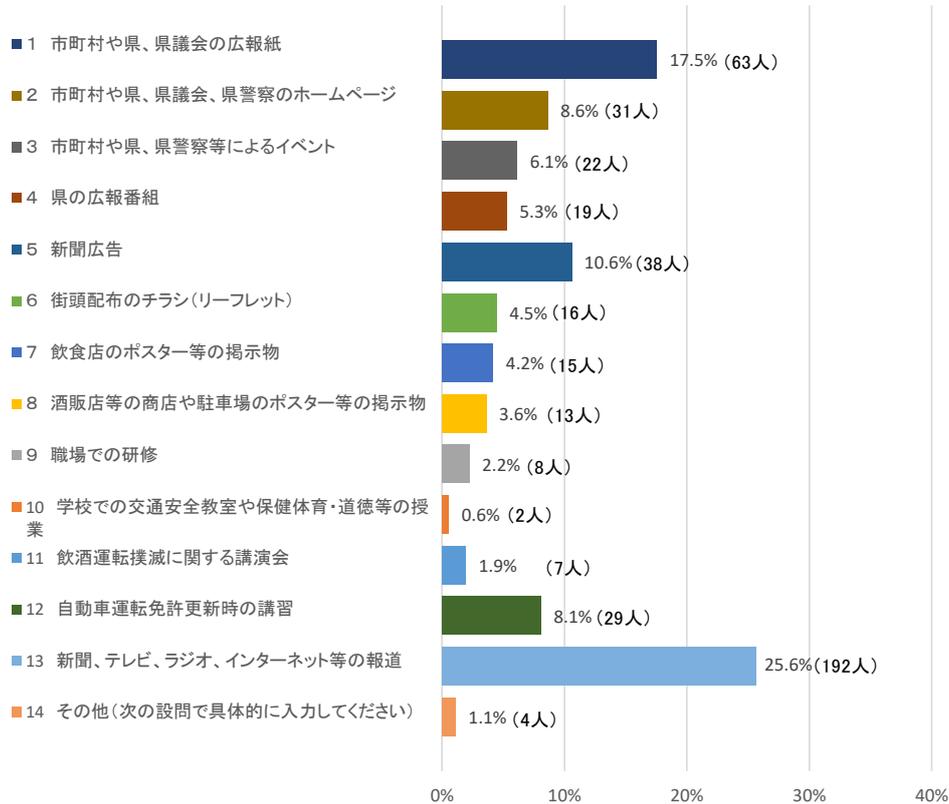


問3（問2で「1」を選択された方にお尋ねします。）

飲酒運転撲滅条例が改正されたことを知ったきっかけを、次の中から【全て】選んでください。

（回答者数163人、回答件数359件、複数選択可）

1 市町村や県、県議会の広報紙	17.5%	(63人)
2 市町村や県、県議会、県警察のホームページ	8.6%	(31人)
3 市町村や県、県警察等によるイベント	6.1%	(22人)
4 県の広報番組	5.3%	(19人)
5 新聞広告	10.6%	(38人)
6 街頭配布のチラシ(リーフレット)	4.5%	(16人)
7 飲食店のポスター等の掲示物	4.2%	(15人)
8 酒飯店等の商店や駐車場のポスター等の掲示物	3.6%	(13人)
9 職場での研修	2.2%	(8人)
10 学校での交通安全教室や保健体育・道徳等の授業	0.6%	(2人)
11 飲酒運転撲滅に関する講演会	1.9%	(7人)
12 自動車運転免許更新時の講習	8.1%	(29人)
13 新聞、テレビ、ラジオ、インターネット等の報道	25.6%	(92人)
14 その他(次の設問で具体的に入力してください)	1.1%	(4人)



問3-2 問3で「14」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。

(n=4)

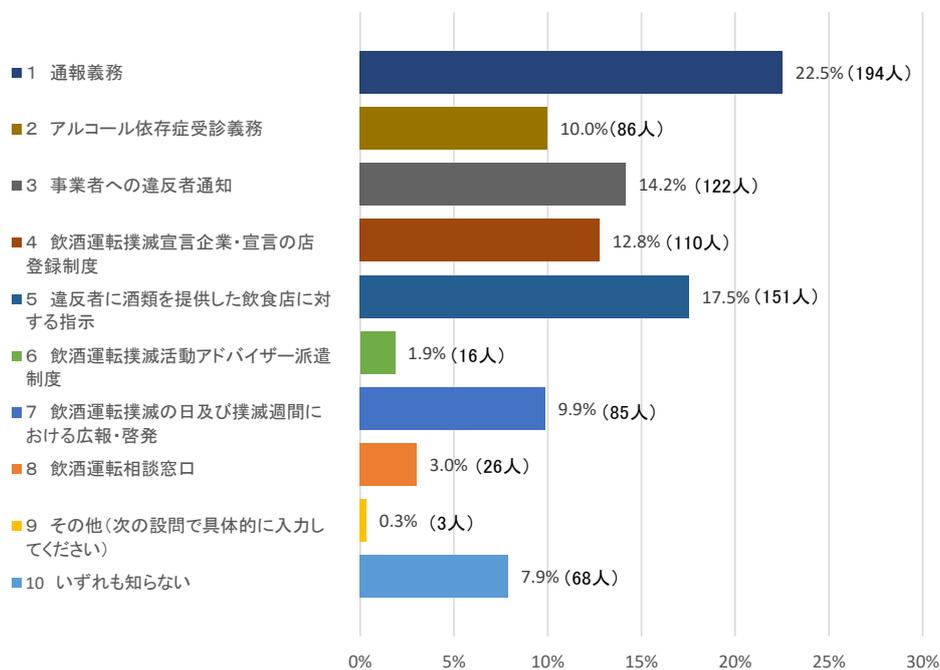
- ・福岡県は車の代行制度がよその県より充実してないので飲酒運転も減らないと思います。他県で飲食すると初めに代行のこと聞かれたり飲食店に駐車場があるので飲んだら乗らない
- ・家族から聞いて
- ・大学で教授と話している際に知りました。
- ・安全運転管理者講習

問4 飲酒運転撲滅条例に基づいて、福岡県では飲酒運転撲滅に向けた様々な施策を実施しています。

次の中から知っているものを【全て】選んでください。

(回答者数361人、回答件数861件、複数選択可)

1 飲酒運転を見かけたときの110番通報義務	22.5%	(194人)
2 アルコール依存症受診等義務	10.0%	(86人)
3 事業者への違反者通知	14.2%	(122人)
4 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店登録制度	12.8%	(110人)
5 違反者に酒類を提供した飲食店に対する指示	17.5%	(151人)
6 飲酒運転撲滅活動アドバイザー派遣制度	1.9%	(16人)
7 飲酒運転撲滅の日及び撲滅週間における広報・啓発	9.9%	(85人)
8 飲酒運転相談窓口	3.0%	(26人)
9 その他(次の設問で具体的に入力してください)	0.3%	(3人)
10 いずれも知らない	7.9%	(68人)



問4-2 問4で「9」を選んだ場合は、その内容を具体的に入力してください。(抜粋)

(n=2)

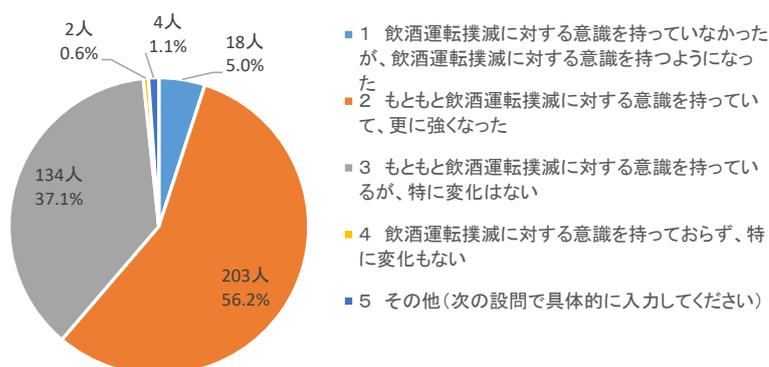
・免許更新の際に昔はかなりショッキングな事故の映像を見たような覚えがあります。心臓の弱い人以外は見せた方が良いと思います。

・ハンドルキーパー運動

問5 近年における飲酒運転撲滅運動等をきっかけとして、ご自身や周囲の方々の飲酒運転撲滅に対する意識に何らかの変化がありましたか。次の中から【1つだけ】選んでください。

(n=361 選択は1つのみ)

1 飲酒運転撲滅に対する意識を持っていなかったが、飲酒運転撲滅に対する意識を持つようになった	5.0%	(18人)
2 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っていて、更に強くなった	56.2%	(203人)
3 もともと飲酒運転撲滅に対する意識を持っているが、特に変化はない	37.1%	(134人)
4 飲酒運転撲滅に対する意識を持っておらず、特に変化もない	0.6%	(2人)
5 その他(次の設問で具体的に記入してください)	1.1%	(4人)



問5-2 問5で「5」を選んだ場合は、その内容を具体的に記入してください。

(n=4)

- ・もとお酒をあまり飲まないし、誘わない
- ・強化されたことを知らなかった
- ・飲酒をする人には免許を返納していただきたい。
- ・飲酒運転してしまう背景から支援しないと、罰則だけでは変わらないと思います。

問5-3 (問5で「1」を選択した方にお尋ねします。)

飲酒運転撲滅に対する意識にどのような変化があったかを差し支えない範囲で具体的に記入してください。

(n=4)

- ・事故や被害の深刻さ悲惨さを考えるようになり、意識を持つようになった
- ・お酒を飲む会合は必ず公共交通機関を利用する。
- ・飲んだら乗らないを強く感じた
- ・昔に比べ罪の意識が強くなり絶対にしないと

問6 飲酒運転の撲滅について、これまでの設問以外にご意見がある場合は、その内容を具体的に入力してください。(抜粋)

(n=61)

○飲酒運転撲滅意識について

- ・ちょっとだけなら…を許してしまう会社などが処罰を受けるのもよいと思います。優良企業では会社の飲み会では「絶対ダメ」が周知されているのに公務員や名前が公表されてもわからないような会社は徹底されていないのかも。企業処罰も必要だと思います。
- ・私の地元と比べると、飲酒運転撲滅に対する意識はかなり高いように感じます。大学の入学式で県警の方が飲酒運転の話をしていたのをよく覚えています。学校現場での啓発活動はぜひ今後も続けてほしいです。
- ・運転免許の有無に関係なく、みんなの意思が大切。
- ・28年前に就職しましたが、そのころには「1杯くらい」という大人がたくさんいて仰天した記憶があります。そのころの大人のうち若い世代はまだ60代です。飲酒運転撲滅運動は粘り強く続けて下さい。
- ・飲酒運転する人は、自分は少しくらい大丈夫と思って車に乗る人もいます。少しくらい飲んでも大丈夫や自分は大丈夫という過信を正さなければ飲酒運転はなくならないと思うので、啓発などで常に繰り返し呼びかける事が重要だと思います。
- ・大きな飲酒運転が起きたときに、世間は大騒ぎしますが、私は自身がどんなに強い意志を持って居ても、アルコールが世の中に存在するがぎり、飲酒運転は、ゼロにならないと、思います。
- ・クロスfmラジオで毎日飲酒運転事故の情報を耳にして、飲酒運転事故が毎日絶えない現状を確認しています。全国的にも福岡県の飲酒運転は中々なくならないので、徹底的に取り締まりを強化するだけではなく、私たちもなくすための協力をしていきたいと思っています。

○飲酒運転撲滅の取組について

- ・新聞の全面広告は効果的広報と思う
- ・代行業者の紹介がお店に置いてあると良いかと思う。
- ・車自体が運転席でアルコール反応を感知したらエンジンがかからないシステムができるか…でも、基本はモラルの問題ですね。
- ・飲酒運転での事故は、大事故に繋がることから、取り締まりの更なる強化(違反者の自己所有の車の一時預かり等)や、アルコールを伴う飲食街付近のパトカーによる巡回度アップはどうか。
- ・飲酒運転側の生活改善、相談窓口の設置治療が強力に進められることを期待する
- ・他人の命をも巻き込むものなので飲酒運転は本当になくなって欲しいが車でないと飲みに行く場にも行きにくい地域も多いのは現実。かといって行きも帰りもタクシーではお財布に優しくない。以前住んでいた都市部では電車で行った飲み屋さんが多かったので考えられなかったことが タクシーを使って飲みに行く時にも使えるクーポン券のようなものがあつたら 自家用車でなく行けるのにな と思ったことがある。具体的に思いつかず申し訳ないが どこかどこかがタイアップしてそんなシステムが出来ればいいのになと思う。(タクシーと飲み屋のスタンプがあればスーパーで割引の買い物が出る みたいな)
- ・飲酒運転の常習者に対する対策が一層大切だと思います。
- ・過去の海の中道での悲惨な事故も記憶しているし、毎年キャンペーンの季節は、市役所に折り鶴を持っていったりして、撲滅の必要性は感じています。しかし毎年この税金で賄われているキャンペーンの費用を他に回せたらどんなに助かることかと、陰鬱な気持ちになります。
- ・1度でもアルコールによる違反をした人は、アルコール依存の可能性が高いので、アルコール依存の治療の確認につなげるような仕組みにしてほしい。アルコール依存症が治療が必要な疾患だと社会的に認知されてほしい。
- ・飲酒する前は飲んだら乗らないを意識しているが、飲んだら気持ちがやわらぎ、このくらいだったら大丈夫の意識に変わる。運転席についた人に、酒の匂いがしたら、エンジンがかからない、装備を着ける。
- ・飲酒運転が判明したら事故の有無に関わらず仕事を失ったり免許取り消しになるようにすればかなり減ると思う。
- ・飲酒運転の罰則を厳しくすべきである。飲酒運転をした場合は、免許取り消しにすべきである。
- ・ちょっとだけなら…を許してしまう会社などが処罰を受けるのもよいと思います。優良企業では会社の飲み会では「絶対ダメ」が周知されているのに公務員や名前が公表されてもわからないような会社は徹底されていないのかも。企業処罰も必要だと思います。
- ・飲み屋さんの駐車場に車が満車になるくらい停まっているが、本当に運転者は飲まないで帰るつもりなのか、疑問。飲み屋の中に入って、抜き打ちで、運転者が飲酒していないか、調べるぐらいは必要な気がする。全店は不可能だとしても、そういうことをやっているという話が広まれば、牽制にはなると思う。
- ・事後ではなく飲酒運転を未然に防ぐ取り組みにももっと力を入れるべきだと思います。飲食店やコンビニ・スーパー、酒飯店なども連携すべきではないでしょうか。
- ・アルコール依存症受診・治療への誘導を公費負担するのではなく、車に乗らない免許を取得できないようにする方がいいのでは
- ・飲食店近くの駐車場に車を止めている人が飲酒運転する確率が高いと思うので、ゲートをでる時に、駐車料金を支払いかつ、呼気でアルコール検知したら、バーが上がらず出庫できない、かつ警察に連絡されるようにしたらいいのではないかと思います。